

第215号

平成24年5月10日

病院だより



[患者サポート室] 開設のお知らせ

Izumi Mitsuori

三堀いずみ

突然の胸痛

Makoto Shimizu

清水 誠

外来A部門のご紹介

Kayoko Oono

大野佳代子

国際親善総合病院

URL <http://shinzen.jp>

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (総務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



入院中の患者さん・ご家族のみなさまへ [患者サポート室] 開設のお知らせ

当院では入院中の患者さんやご家族が心配に思われていることや困っていること、誰に話したらよいか分からないことなど、安心して相談ができる窓口を開設いたしました。月～金曜日の下記の時間帯と土曜日の午前中にお受けしており、ご相談内容に応じたスタッフが対応いたします。ぜひ、お気軽にご利用ください。

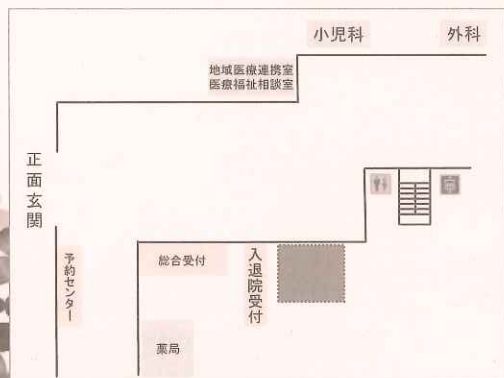
☆受付時間 午前9時から午後5時まで

☆受付場所 1階 看護相談室 または
入退院受付

☆予約は必要ありません

☆無料でご利用いただけます。

お気軽にご利用ください。



ご不明な点は
1階「看護相談室」または、
「入退院受付」までお願いします。



突然の胸痛

～すばやい対応が重要です～

大きな病気を経験せず普通の生活をしていた中高年の人が、突然の胸痛を自覚したとき、すぐ病院を受診するのが当然と誰でも考えますが、実際にはそのまま様子をみて我慢する人や、痛みが少し軽くなったために病院へ行くのをやめてしまったりする人もいます。また病院へ行くと決心しても救急車を呼ばずに自家用車で向かったために病院到着前に状態が急に悪化する人もいます。

このような胸痛をきたす急性疾患としては急性心筋梗塞、狭心症（不安定狭心症）、大動脈解離、急性肺塞栓などがありますが、いずれも突然に発症し、短時間のうちに致命的な合併症を生じ、急性期の治療の遅れにより重症化する病気です。このうち急性心筋梗塞と狭心症は心臓自体を養う冠動脈の動脈硬化が原因で、高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などの脂質代謝異常、喫煙などの生活習慣が促進因子として知られています。冠動脈の動脈硬化の病変（粥腫）が安定した状況では狭窄が高度でなければ無症状ですが、粥腫が脂質に富み不安定な場合は狭窄が軽度でも、血管の内側（内膜）の障害を引き金に急速に血栓を形成し動脈を閉塞するため、灌流を受ける心筋が虚血性障害からやがて壊死に至ります。これが心筋梗塞です。閉塞した動脈を壊死に至る前に再開通させれば、心筋梗塞を起こすことなく障害を最小限に食い止めることができます。

一般には心筋梗塞発症12時間以内の急性期のカテーテル治療により冠動脈の再開通を得られれば心筋梗塞の子後の改善が認められますが、発症早期であればあるほど治療効果は大きいとされています。さらに、心筋梗塞の発症早期は、心室細動などの致死的な不整脈、心不全、心破裂などの重篤な合併症が起きやすく、最も危険な時期でもあります。特に心室細動は突然意識を消失し、数分以内に死に至る重篤な病態ですが、救急隊員により施行できる除細動（電気ショック）により治療可能です。ただし、これらの治療を成功させるには、何よりも時間が重要です。

突然の胸痛に襲われたら、分単位で病状が悪化する事態を想定し、救急車を呼んで、一刻も早く専門の医療機関で治療を開始することが重要です。

診療部長

循環器内科部長 清水 誠

しんぜん院外健康教室

開催時間：平成24年6月11日(月) 10:00～11:30

開催場所：中川地区センター

当日受付、参加費無料、先着100名 皆様のご参加をお待ちしております

外来A部門のご紹介

私たち外来Aは当院1階の一般外来を担当しています。地域住民の皆さまの一番近くで、病気の治療のみならず予防にも関わっていくという大変重要な立場にあることを自覚して日々外来看護業務に取り組んでおります。

外来看護師の仕事は、医師の診療介助のほかに、総合受付での問診や受診科のご相談、入院や手術される患者さんへのご説明、外来手術、化学療法を受ける方のケアなど多岐にわたります。

患者さんから「国際親善病院に行って良かった」と言っていただけるよう、心のこもった看護を心がけております。ご不安なことや分からないことなどありましたら、いつでも声をおかけください。

この度、待ち時間の目安として、電光掲示板を設置し診察順番が医師ごとに表示できるようになりました。各科受付からお渡しするカードに記載されている番号が電光掲示板に表示されます。これまで通り緊急を要する患者さんの対応の際は順番が前後することがありますのでご了承ください。当院をご利用いただく患者さんが円滑に外来診察を受けていただけるよう今後も努めてまいります。



◆かかりつけ医を持ちましょう◆

厚生労働省より、普段から診ていただける「かかりつけ医を持ちましょう」ということが勧められています。まずはかかりつけ医に相談し、紹介状を持参していただきますと専門科の診療を受けることができます。また、待ち時間の短縮にもなりますのでご協力をお願いいたします。詳しくは、総合案内にパンフレットがございますのでご参照ください。